

環境経営

東海理化グループでは、環境保全を経営の重要課題と位置付け、環境方針に基づく中期指針である環境取り組みプランを5か年ごとに策定して、活動を展開しています。

環境マネジメントシステムの構築・運用

各拠点が、継続的に環境パフォーマンスを向上していくため、環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、外部認証を取得しています。東海理化および海外生産拠点では、ISO14001の認証を取得し、国内グループ会社では、ISO14001の他、エコアクション21の認証を取得しています。

生産拠点のEMS外部認証取得状況



環境リスクの低減

生産設備や構内作業における環境リスクを評価し、想定される緊急事態に対して定期的に訓練を行い、資材や対応手順が有効に機能することを確認しています。2021年度は、環境異常・苦情の発生はありませんでした。



緊急事態対応訓練

ビジネスパートナーとの連携

当社および海外拠点各社では、グリーン調達ガイドラインを定め、環境保全に対する考え方を理解していただくとともに、グローバルで環境マネジメントの強化を進めています。当社では、仕入先さまで組織する協会の会員会社に対して、法改正情報や省エネ事例、環境ヒヤリ事例を共有し、仕入先さまと双方のレベルアップにつなげています。



グリーン調達ガイドライン

主な記載項目

1. 環境マネジメントシステムの構築
2. 当社に納入する部品・材料の管理
3. 物流に関わるCO₂排出量、梱包・包装材の低減
4. 取引先さまの事業活動に関わる環境の取り組み

また、社内の省エネキーマン育成の場である「省エネ道場」を仕入先さまにも開放し、省エネのノウハウを伝授しています。サプライチェーン全体でカーボンニュートラル達成に向けて、連携を進めていきます。



省エネ道場

環境情報の開示

CDP(カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)による気候変動質問書、および水セキュリティ質問書への回答を通じて環境情報を開示しています。また、2021年4月にはTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言への賛同を表明しました。環境に関する詳細データは、別冊のエコデータファイル、および当社ウェブサイトで公開しており、カーボンニュートラルに向けた施策とともに、関連情報の開示を進めていきます。

